

平成30年 第6回 男鹿市教育委員会会議録

1. 日 時 平成30年12月20日（木）
午前10時～
2. 場 所 男鹿市役所 本庁舎3階 第1会議室
3. 出席者 教育長 栗森 貢
委 員 目黒 恵子
委 員 吉田 貴美子
委 員 安田 一彦
委 員 小玉 亜紀子
4. 出席職員 教育次長兼生涯学習室長 目黒 雪子
学校教育課長 加藤 和彦
学校教育課主幹 加賀谷 正人
学校教育課主幹 湊 留美子
生涯学習室主幹 佐藤 延明
5. 案 件
議案第14号
男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正
に伴う規則の廃止について
議案第15号
男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正
に伴う規則等の一部改正について
6. 報告事項
(1) 平成30年12月市議会定例会での一般質問等について
(2) 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）について
7. 課長の報告
8. その他
9. 次期教育委員会会議の開催日時
10. 閉 会

【議事 午前10時開会】

○教育長

ただいまから、平成30年第6回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議題につきましては、案件が2件、報告事項が2件です。平成30年第5回の会議録については、委員の皆様から署名いただきましたので承認されました。

それでは案件に入ります。始めに、議案第14号男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正に伴う規則の廃止について事務局より説明願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

ご質問がありましたらお願いします。

○委 員

な し。

○教育長

議案第14号について手続きを進めてまいります。

○教育長

続いて議案第15号男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正に伴う規則等の一部改正について事務局より説明願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

ご質問がありましたらお願いします。

○委 員

な し。

○教育長

議案第15号について手続きを進めてまいります。

○教育長

続いて報告事項1、平成30年12月市議会定例会での一般質問等について事務局より説明願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

何かご質問はありませんか。

○目黒委員

各クラスにエアコンは設置されていないが、扇風機等冷房設備は置いてないのか？
管理の仕方は？

○学校教育課長

学校の方で判断しておりますが、各校普通教室に扇風機を設置しております。

○目黒委員

エアコンが必要な期間が日数的に1、2日位だというと業務用のエアコンでなくとも、冷風が入ってくるウインドファンとかもあるので、値段が安いものでも準備して扇風機と一緒に対応してもいいのでは。予算がかなり削減される事になるかと。

○教育長

国の今回の補助制度の内容は家庭用エアコンは対象とならず、組み込み式の業務用エアコンで普通教室への設置という条件であり、また職員室や校長室は対象外でありました。本市の状況から言えば真っ先に職員室に設置したいのが現状ですが、1教室150万位程と見積もりし算出したところ、多額な経費がかかることから見送らざるを得なかったところであります。

○目黒委員

国の予算に頼らず少ない予算で対応していけばいい。職員室にもエアコンがあると無いとでは全然違うと思う。

○小玉委員

教室に扇風機が1台のところと、2～3台あるところとまちまち。学校で購入しているのか。多くある方がいいに越したことはない。パソコン室と保健室にはエアコンが入っているのか

○学校教育課長

現時点で各学校全ての保健室とパソコンルームにエアコンは設置されております。特別支援学級の身体の体調に心配のある児童については、学校から特別支援教室にエアコン設置の要望があり設置しているものであります。

○安田委員

I C Tについて詳しく教えて欲しい。

○学校教育課長

学校ではパソコン等を利用しながらの教育が必要となっておりまして。ただパソコンだけ準備すればいいのではなく、それを使うため教えていかなければいけないソフト的なところも含めて学校の方で準備するとなると、かなりの経費が嵩む事になります。残念ながら男鹿市ではI C T関係の環境が整っていない部分がありますので、来年度力を入れていかなければというところであります。

○安田委員

I C Tを使った教育とは。

○吉田委員

I C Tの導入について与えるものはパソコンなのか、端末のタブレットなのか。そしてそれを学校単位で何台用意するのか、タブレット端末を一人に一台渡して授業を進めていく事にする予算を組んでいるのかお聞きしたい。授業の内容もどういう場面で役に立つのかがイメージがつかめないので教えて欲しい。

○学校教育課長

学校にはパソコンルームがあり、そこにデスクトップのパソコンが準備されております。ここ数年での文部科学省の目標が、一人1台のタブレットとかなり状況が変わってきております。基本的に準備をするのは学校、教育委員会という形になり

ます。現段階で準備出来そうなところを財政面を考え併せると、二人で1台を使う形での設置を考えているところです。パソコンでもタブレットに出来るものもありますので、そちらで準備出来ればと考えているところです。利用の仕方ですが、教科によっても色々あり、例えば美術とかであれば自分で画像を撮ってきてそれを操作して絵のスケッチに使ったり、理科であれば外に出て画像を撮ってきてそれを観察して勉強の振り返りに使う等教科によって色々出てくるかと思います。インターネットでの調べ学習もあります。

○教育長

今までパソコンルームでしか学習できなかったのですが、通常の教室でもタブレットを使用しての勉強が出来るようになります。教師が問題を出したものがすべて発信されて子供達のタブレットに送られる。それを見て子供たちが考えて答えを出す。子どもの答えがモニターに写し出されたりするので、一斉にモニターで見る事が出来、皆で話し合える。また、インターネット検索等が普通教室内で出来る。学習支援ソフトがそれぞれのタブレットに組み込まれて、問題の回答の書き込みができる等多様な考えを視覚的に見せることが出来ます。

○吉田委員

I C Tを活用した授業で理解できましたが、1時間目から6時間目までタブレットを使用する授業がメインになるとすれば常に目にブルーライトが当たる環境とかの弊害が起こってくるのでは。板書する機会も無くなるのか。

○教育長

見える、残す板書と消える板書と聞き流す情報等をI C Tを活用した学習では、どんな所で効果的なのか現場では考えていかなければいけません。また、1時間目から6時間目までタブレット使用しての授業はありえないです。学校に20台位でするので複数の学級で使うこともありますし、ずっと使う事はありません。今求められるのは多様な情報社会の中で自分にとって必要な情報をどう得るかとか、情報を通してのやり方とかルール、効果を学んでいく等I C T活用能力を育成していくことが必要となるわけです。

○目黒委員

実施できるとなれば導入はいつの予定か。

○学校教育課長

今後来年度の当初予算を固めていくことになります。どのような予算措置が出来るかはこれからです。当初予算に組み入れたとすると夏休み中の工事になると思われます。

○教育長

多額の経費がかかる事になります。来年度教師のパソコンの認証が切れますので更新するという事と校務支援、また子ども達のタブレットの購入、学習支援ソフトについて予算打ち合わせを進めていく事になります。

○目黒委員

潟上市はI C T環境が整っていて、男鹿市は遅れている感じなので子ども達にはギャップだと思う。早く導入される事を願う。

○小玉委員

メンテナンスはどんな形になるのか。業者が入るのか。

○学校教育課長

メンテナンスを含めての予算計上になり、機器を含めての業者入札になります。

○小玉委員

今入っているパソコンのメンテナンス会社も入るのか。

○学校教育課長

それはまだわかりません。

○教育長

他に無いようですので、報告事項2、明日を創る新成人のつどいについて事務局より報告願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

何か質問はありませんか。

○委 員

な し。

○教育長

課長の報告は今回ありません。次にその他に入ります。何かありませんか。

○吉田委員

男鹿のなまはげがユネスコ登録された。一回休止されたなまはげが復活されたという事が新聞でも取り上げられているが、復活がなかなか進まないのは担い手がない事と、12月31日に出かけなければならない家庭の都合と、玄関先を掃除しなければならない事が理由とされている。それに絡めて学校の家庭訪問は何年くらい前から止めたのか。各家々を回る事が大変といった先生側の理由なのか。自分の家に他人が入るのが嫌、仕事の休暇をとる関係で大変といった理由で家庭の方から言われたからか。

○小玉委員

私の子ども達の時は家庭訪問にいらしていた。

○安田委員

今もあるような感じはしているが。夏休みにやっていたような。

○目黒委員

冬休みにやっていた学校もある。お勤めされている方には夜訪問していた。

○教育長

訪問するとなると玄関先になりますが、家の中の様子を見られることに抵抗感があるのかもしれないし、学校側でも時間を確保するのが大変という事もあります。両方の事情から実施出来なくなったように思われます。

○学校教育課長

平成11年度は家庭訪問は行っていました。それ以降いつから止めたのかは分かりません。家庭訪問はしなくても夏休み中に保護者の方から来てもらっての三者面

談をやっています。時代の色んな事がかみ合っの今に至っております。

○目黒委員

学校でのいじめが増えている。家庭に行けば家庭の雰囲気や子どもの育てられ方がわかって、いじめの繋がりがわかるのでは。家庭を訪問するのは大事。親が子供時代どういう風に育ってきたか等を絡めて家庭を見るという事が大切になってくると思う。私は家庭訪問を見直すべきと思う。夜の時間でもちょっとでもいいから訪問すべき。

○教育長

他にありませんか。

○安田委員

男鹿市はそうでもないと思うが、教職員と管理職との隔たりがあるかと思う。先生たちの長時間労働が指摘されている中で家庭訪問とか行事とか色々増えてくるのでは反比例してくるような感じがする。教職員にもかなりの負担がかかっているのでは。

○目黒委員

教育って子供にどの程度時間をかけられるかという所がおおきな課題かと思う。デスクワークとは違って朝から夕方何時までといったものでは無いのでは。部活をやっている人もそれ程苦にならず一生懸命やっている人と、やってないのに大変だという人がいる。職場の現実がどうなのかははっきり分かっていないのでは。先生たちの声をしっかり聞く。子どもと先生の関係とかしっかりと見据えて職場を見直すべきだと私は思う。

○安田委員

担任ではなくても多くの時間を触れ合った先生は一生忘れないものだ。人間は関わり合う時間が多い人程先生と子どもと家庭とのやりくりの時間が多い程、いいとは思いますが、現在長時間労働が問題視されている中難しい問題である。

○教育長

月45時間以内と言われている中、月100時間を超えて勤務している先生もおります。関わり合う時間は意識的に作っていかなければならないと思います。時間をどのようにして使うかは、教育の本質に関わる大事な事であると意識しておりますが、時間がいくらあっても足りなくて反比例する事になります。そのあたりが難しくて時間で区切れないのが正直なところです。先生方の働き方が大変であったという事がクローズアップされた事が私達としては良かったと思っています。教育委員会としても働き方を各校に指導していかなければならないと感じております。

○教育長

かがやけ未来のプロジェクトについて感想を教えてください。

○吉田委員

男鹿をより良くするための子どもの新しく経済的な視点、例えば商品開発やジェラートの投票制とか儲けを含めた事例や、男鹿の限られた資源をどう活かしていくか等小学6年生で既に解っていることに驚くとともに感心させられた。大変勉強になった。

○小玉委員

全部の発表を聞きたかった。時間があっという間に過ぎて2グループしか聞けず残念であった。もっとゆっくり見たかった。もっと共有出来るといい。市職員が見に来た事も良かった。各校に持ち帰ってしまったのでは残念である。市役所のホールに展示する等多くの市民が目につくようにして欲しい。色々な人に見てもらい、そこからまた色々なアイデアが出てくるのでは。

○目黒委員

これで終わりにしないで、前の発表、翌年の発表と展示を続けていくといい。市民の人が目につく工夫をするべき。ぶりこの歌良かった。自分たちで作詞作曲したということだが大変面白い。多くの人に聞かせたいと思う。びっくりするような事を子ども達って考えるんだなと感心した。

○教育長

大変参考になる発表でありました。来年の事業については教育委員会で検討していくことになります。他の学校の子も達の発表を聞く体験は大変素晴らしい事がありますが、総合的な学習70時間のうちの15時間をこの事業に充てているという事で、外国語の授業もありますし、多忙化にならないよう学校の方に負担感を感じないような取り組みを考えていきます。

○目黒委員

小規模校であろうが子ども達が堂々と発表する姿に驚いた。切磋琢磨しなければダメだとよく話にでるのだが、どの子どもも皆同じように話をできる事に驚いた。

○小玉委員

市内の子ども達が集まる機会は1回だけなのか。だとするとこうした事業が必要かと思う。

○教育長

貴重なご意見ありがとうございました。

【次期教育委員会会議の開催日時】

○教育長

それでは次回教育委員会会議の開催日時について事務局から説明願います。

○学校教育課長

次期教育委員会会議は2月12日（火）の午後1時30分を予定しております。

○教育長

今回は2月12日（火）の開催となります。

以上をもちまして、平成30年第6回教育委員会会議を終了いたします。

〔午前10時58分閉会〕